

【島のくらしの情報】

池島

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>・島では、石炭産業が基幹産業でしたので、閉山後は多くの人が島を離れました。現在は、年金暮らしの人が主です。</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>・島内には、18棟311戸の市営住宅がありますが、現在90戸が入居している状況です。 ・島内の市営住宅には一部を除き風呂が設置されていないため、公衆浴場が2箇所運営されています。</p>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>・島には池島診療所があり医師1名、看護師2名常勤し住民の健康を守っています。 ・急患は緊急船又はドクターヘリで本土に搬送し、救急病院へ運んでいます。</p>
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<p>・島内には通所型のデイサービスセンター等の施設はありませんが、週2回(火曜・木曜日)、本土から島に渡りデイサービスを行っています。</p>
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>・池島小学校(児童生徒は小学生2人)、池島中学校については現在休校となっております。 ・島には高校はなく本土の高校へ通学していました。市では通学費の1/2を補助しています。</p>
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>・島内の水は海底送水管により本土から送水されています。 ・ゴミ処理及びし尿処理については、本土処理工場に運搬して処理しています。 ・ガスはプロパンです。 ・電気は海底ケーブルにて本土から送電されています。</p>
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>【航路】フェリー又は高速船及び市交通船 長崎県長崎市池島港から同市神浦港へ。 ・神浦港から フェリーを利用:フェリー「かしま」で30分(1日1便)大人410円 高速船を利用:高速船「れぴーど2」で10分(1日1便)大人560円 市交通船:市交通船「進栄丸」で15分(1日5便)大人350円 長崎県長崎市池島港から長崎県西海市瀬戸港へ。 ・瀬戸港から フェリーを利用:フェリー「かしま」で30分(1日6便)大人440円 高速船を利用:高速船「レビードⅡ」で10分(1日1便)大人590円</p>

<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>【島内交通】 ・バス 港(池の口)より1日17往復のコミュニティバスが運行されている。大人100円</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 ・小売センター(食堂1、店舗1)があります。 ・食堂2軒(1軒は小売センター内)あります。 ・島内には薬局がないため島外の商店に注文して調達しています。 ・車による移動スーパーが週3回(月、水、金)巡回しています。</p> <p>【物価例】 平成28年10月の価格 米5キロ 2,580円～2,780円 平成28年8月の価 ガソリン(1L) 163円</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>・観光事業により、交流人口は年々増加していますが、今のところ定住や雇用の増までには至っておらず、人口の減少が続いている状況にあります。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>・移住についての、受入れ条件・環境が整っていなかった為、具体的な支援活動は行っておりません。</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>・移住についての、受入れ条件・環境が整っていなかった為、具体的な支援活動は行っておりません。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>・宿泊施設は1件ありますが、食事ができません。島内に2軒の食堂がありますが、電話確認又は予約することをお勧めします。</p>